

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都二条河原町ホテル計画	階数	地上6F,地下1F
建設地	京都市中京区河原町通二条上る清水町341番	構造	S造
用途地域	商業地域, 防火地域	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 竣工	評価の実施日	2019年5月20日
敷地面積	1,664.98 m ²	作成者	山田 邦夫
建築面積	1,385.31 m ²	確認日	2019年5月20日
延床面積	8,158.12 m ²	確認者	山田 邦夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 69%
③上記+②以外の 68%
④上記+ 68%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.9

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 建物全体に有害物質を含まない材料を使用しており、また、中庭のような開放的な空間や建物周囲に設けている緑地によって、宿泊者に対して過ごしやすい環境を提供している。		
Q1 室内環境 建物全体に使われている建材は、化学汚染物質に対する配慮がされたものを使用しており、汚染物質の発生を最小限に抑えている。	Q2 サービス性能 建物の維持管理がしやすい環境となっている。補修も頻繁に行うことの無いよう、耐用年数の長い材料を使用し、環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 宿泊者にとっても周辺地域にとっても過ごしやすい環境を整えている。緑地を建物の周囲に設けて緩衝材の役割をしている。
LR1 エネルギー 太陽光発電を利用したシステムを計画しており、自然エネルギーの変換利用に関する取り組みを行っている。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用しており、環境にやさしい建物となっている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量が68%であり、CO ₂ の排出量を抑えて地球温暖化対策に取り組んでいる。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される